

I はじめに

当社は、本州四国連絡橋公団の民営化により2005年10月1日に誕生し、五つの項目から成る「経営理念」とそれを実現するための社員の心構えである「行動規範」を制定し、本州と四国を連絡する3ルート的高速道路事業及び関連事業を開始しました。

その1年後の2006年9月19日に、「瀬戸内交流の活性化と本四連絡橋の役割」というテーマで、創立1周年記念シンポジウムを開催したところ、当社は瀬戸内海の架橋を通して、瀬戸内地域の発展に努力してほしいというご意見を頂きました。それを踏まえて、今後のJTB本四高速グループとしての取組の方向と実践の内容を明らかにした「瀬戸内企業ビジョン」を2008年4月に策定しました。

これらの経営理念や企業ビジョンを実現するためには、事業別業務内容について、具体的な活動計画を作成することが必要であり、2009年度から2011年度における3箇年の中期経営計画を策定しました。

当社発足以来、お客様へのサービス向上や17の長大橋を含む本四高速道路の万全な維持管理を行うとともに、本四3ルートを含む瀬戸内地域の情報発信及び各ルートの周年事業や地域との協働に努めて参りました。さらに、2008年度には政府の緊急生活対策事業として高速道路の全国的な料金引下げが検討され、2009年3月より大幅な料金割引が開始されました。

2009年度からの3箇年は、料金引下げによる交通量の増加、ETCの利用率向上、休憩施設でのお客様増加などの状況に対応したサービス向上を図っていく必要があり、当社の経営基盤の強化も合わせて、中期経営計画において経営理念の実現に向けた具体的な活動計画を定めました。本計画を基に、JTB本四高速グループ社員が一丸となって、目標達成に取り組み、安全・安心・快適な道路サービスを提供することにより、地域の発展に寄与することをめざします。

II 経営理念・行動規範

経営理念

Bridge : Communication & Technology

私たちは、本州と四国を結ぶ世界に誇る橋を良好に保つことにより、人と物の交流と地域の連携を推進し、経済の発展と生活の向上に寄与します。

また、これまで培ってきた橋の建設、管理技術を活用して、広く社会に貢献します。

1. お客様に安全、安心、快適に利用していただけるよう、サービスの充実に努めます。
2. 20年以上の長期にわたり利用される橋をめざし、万全な維持管理に努めます。
3. 橋梁技術のフロントランナーとして、技術の継承・高度化を推進します。
4. 瀬戸内の美しい自然を大切に、環境に配慮します。
5. 公正で効率的な運営により、経営の安定と成長をめざします。

行動規範

1. 経営理念の実現に向け、誇りと自信を持って挑戦します。
2. お客様の視点を大切にし、お客様との対話に努めます。
3. 現場重視で、素早く決断し、課題を解決します。
4. 自立・自律の精神で仕事に臨み、創意工夫と自己研鑽に努めます。
5. 社員相互の信頼と理解を深め、明るく、風通しのよい職場をつくります。
6. 会社を支える気概を持ち、会社の発展をねがい、自らの幸せを築きます。

III 瀬戸内企業ビジョン

私たちは、瀬戸内に立脚する企業として、「経営理念」と「行動規範」に基づき、次の7つの柱立てで活動を実践します。

- 1 **お客様への安全、安心、快適なサービスの提供**
 - ・ 交通の安全確保に努めます。
 - ・ 交通管理体制を充実します。
 - ・ お客様サービスの向上に努めます。
- 2 **200年以上の利用をめざした万全な維持管理**
 - ・ 計画的かつ着実な予防保全を実施します。
 - ・ 効率的かつ経済的な管理技術を開発・導入します。
- 3 **技術の活用**
 - ・ 橋梁技術の支援に努めます。
 - ・ 橋梁技術者の育成を支援します。
 - ・ 橋梁技術の普及、発展に寄与します。
- 4 **環境への取組**
 - ・ 瀬戸内の環境、景観を保全・創出します。
 - ・ 地球温暖化の防止に努めます。
 - ・ 循環型社会の形成に貢献します。
- 5 **地域との協働**
 - ・ 観光をはじめ地域経済の活性化を図ります。
 - ・ 地域におけるコミュニティ活動を支援します。
 - ・ 社会教育活動に参画します。
- 6 **情報の発信**
 - ・ 本四連絡橋をアピールします。
 - ・ 瀬戸内地域の魅力を発信し観光価値の向上に努めます。
 - ・ 企業情報を開示し、お客様や地域の声にお応えします。
- 7 **資産の有効活用**
 - ・ 地域にアメニティを提供します。
 - ・ 地域の生活基盤を提供します。
 - ・ 長大橋の魅力を活用します。

